

機械器具（50）開創又は開孔用器具

一般医療機器 歯科用開口器 70949000

フォトガイダー

【形状・構造及び原理等】

フォトガイダーType A.B.C は、カメラのファインダーと同じ角のある板状の形態を有しており板状部から把持部の基部にかけて垂直ライン及び水平ラインが付与されており口腔内写真を撮る際に便利な指標になる器具である。

【形状・構造等】

1) 形状



- ①フォトガイダーType A（正面観撮影用）
②フォトガイダーType B（側方面観撮影用）
③フォトガイダーType C（側方面観非撮影用）

2) 材質・組成

ポリメチルペンテン

【使用目的又は効果】

歯科診療時に口腔内の視野を確保する器具。

【使用方法等】

正面観撮影時

正面観撮影ではフォトガイダーType A をそれぞれ口角の左右に装着する。装着の際顔貌の正中線がファインダー横幅の 1/2 の位置となるようそして水平的にはファインダー縦幅 1/2 の位置に対しインサイザルエッジと鉤の中央に付与された左右の水平ラインが 1 本の線で結べるよう、かつ、瞳孔線と平行になるよう装着し撮影を行う。

左右側方面観撮影時

左右側方面観撮影では撮影側にはフォトガイダーType B を装着し非撮影側にはフォトガイダーType C をそれぞれ口角に装着する。ファインダーの横幅中央 1/2 に上顎犬歯に基準を合わせ水平的にはフォトガイダーType C に付与された水平ラインとインサイザルエッジを結んだ線の延長線上にフォトガイダーType B の水平ラインが位置するよう鉤を遠心方向に引きながら撮影を行う。この時、フォトガイダーType C は、口角に軽く添える程度で装着する。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 患者ごとに【保守・点検に係る事項】に記載する方法及び条件で滅菌前の洗浄・滅菌を行い使用すること。
- 2) 本製品の使用によりアレルギー反応が現れた場合は直ちに使用を中止すること。
- 3) 折損等の原因になるので以下は行わないこと。
 - ①本製品に対する改造（曲げ・切削）
 - ②粗雑な扱い（キズを付ける・落下させる・強い衝撃を与える等）
 - ③バーナーを用いた加熱。

- 4) 使用の際は無理な角度・過度の加圧を避ける事。
- 5) 薬液等が付着した場合腐食する恐れがあるので注意すること。
- 6) 本品及び破折片等の誤飲に注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

「保管の条件」

- ①樹脂製品の為、長時間の日光などの紫外線を避けて保管してください。
- ②樹脂製品の為、火気の近くに保管しないでください。
- ③腐食を防ぐ為、錆びている物と一緒に保管しないでください。
- ④化学薬品と一緒に保管しないでください。
- ⑤破損しないように、金属品等重たい物と一緒に保管しないでください。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

- 1) 以下の方法及び条件で患者ごとに滅菌前の洗浄・滅菌を行うこと。
 - ①洗浄方法：超音波洗浄を行うこと。
 - ②滅菌方法：オートクレーブ滅菌を行うこと。
 - ・オートクレーブ滅菌温度、乾燥工程を含む 132℃ 以下厳守。
 - ・乾燥温度に注意すること高温の乾燥は器具が変形又は変色することがあるので注意する。
 - ③洗浄・滅菌には精製水を使用すること。
 - ④使用後は本体に付着した血液、体液、組織片を速やかに除去し洗浄すること。
 - ⑤磨き粉、金属ウール、金ブラシの使用禁止：劣化の原因となるので洗浄の際磨き粉や金属ウール、金ブラシを使用しないこと。
 - ⑥洗浄、滅菌後の器具は水分を除去し、十分乾燥してから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると劣化変色等の原因になることがある。
 - ⑦必ず使用前、使用後に器具の点検をすること。

- 2) 使用前に本製品の外観の汚れ、破損、ヒビ、キズ腐食及び劣化等の異常がないかについて点検すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称当】

製造販売業者名 : (有) 秋山歯科器具製作所
電話番号 : 03-3871-6522
製造業者 : (有) 秋山歯科器具製作所